



日産建第115号  
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 様

和歌山県日高郡日高町長 中 善 夫



### 中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

本町は、和歌山県紀伊半島西部海岸沿いのほぼ中間点に位置し、南は御坊市と美浜町、北は由良町、東は日高川町及び広川町に接し、西側は紀伊水道に面しています。本町の中央部は広大な日高平野北部地域を占め、日高地方の穀倉地帯といわれるように地味も肥沃で気候風土に恵まれています。海岸線は浜部と岩礁部からなる風光明媚なりアス式海岸を形成し、良好な漁港が立地しています。町土(46.42km<sup>2</sup>)の3分の2は森林であり、北東山間部では、全国的にも希少な黒竹の栽培が見られ、また歴史的遺産である熊野古道など史跡も多く、豊かな自然環境とともに、特色ある地域資源にも恵まれた本町は、観光、レクリエーションの場としても多くの人々が訪れています。

こうした本町の生活・産業・観光(交流の促進)を支える主要幹線道路は、国道42号と県道6路線で形成されていますが、未改良区間が多く残されており、緊急性の高い区間あるいは根本的な改良が早急に望まれています。

特に、産業・観光道路として必要不可欠な海岸道路は、多くの漁港を抱え水産物流を支えており、バス路線、通勤・通学道路にもなっています。また煙樹ヶ浜、日ノ岬、産湯海水浴場、温泉施設、白崎等、日高地方を代表する観光資源を通過し、観光・対外交流ルートとして重要な路線であります。現在、区間改良が一部進められていますが、狭隘で湾曲し危険箇所が数多く残されており、また、昨年9月の集中豪雨の際には道路が冠水し、一部地域においては陸の孤島となり、通勤・通学にも支障がでました。また、内陸部においても、広川南インター関連道路である県道は、有田圏域と御坊・日高圏域をつなぐ広域幹線道路であり、また湯浅御坊道路や国道42号へのアクセス道路として重要な路線であります。カーブ区間が多く、狭隘であるため、車の対向や歩行者にとって非常に危険な状態であり、その解消が急務となっています。さらに、観光客の多い週末には湯浅御坊道路が渋滞し、それを回避するため国道42号が渋滞することもしばしば見られことから、総合的な見地に立った道路・交通体系の構築が必要です。

言うまでもなく、道路は本町にとって住民の日常生活や地域経済、社会活動の維持発展に欠くことのできない社会資本であり、町づくりの骨格形成並びに町土の均衡ある発展を図る上からも重要な役割を担っています。その根幹となる幹線道路は、高規格道路と住民生活と密接に関連する生活道路と有機的に結びつけ、その機能が十分発揮されるものであることから、現在施工中の区間の改良をはじめ、未改良区間の解消と幹線道路網の計画的な整備を更に推進することを強く望むものであります。